

19 ソフトボール

1 日 時 令和8年 9月12日(土)・9月13日(日) 予備日14日(月)

競技開始 9月12日(土) 9:00(男子・女子)
9月13日(日) 9:00(男子・女子)
9月14日(月) 予備日

2 会 場 男 子 フジジンの杜多目的グラウンド (A)(B) (2日間会場)
県立津久見高等学校グラウンド (C) (1日目会場)
女 子 濃霞グラウンド (D)(E) (2日間会場)
日本文理大学附属高等学校グラウンド (F) (1日目会場)
予備日 佐伯市弥生スポーツ公園野球場(F) (予備日会場)

3 実施要領

(1) 種 別

① 男子郡市対抗 ② 女子郡市対抗

(2) 種 目

ソフトボール

(3) 競技方法

- ① 競技規則は2026年(公財)日本ソフトボール協会オフィシャルルールを適用する。DPを使う場合、FPは当該DPと同一年齢層の者とする。
- ② 競技は、全てトーナメント方式で7回戦とする。ただし、80分の時間制限を適用し、80分を超えて新しい回には入らない。80分以内で7回を終了し同点の場合は、80分を超えるまでは、タイブレークを行う。80分を超えて同点の場合は、抽選とする。但し、準決勝、決勝戦は、80分を越えても同点の場合は、2回限りタイブレークを行い、なお同点の場合は抽選とする。
- ③ 3回15点、4回10点、5回7点差以上の場合は、コールドゲームとする。
- ④ 使用球は12インチゴムボール(開催主管支部が用意する)、バットは12インチバットとする。投手用ロジンは参加チームで用意し、試合前に審判員に確認を受ける事。
- ⑤ 塁間は男女とも18.29m、投捕間は男子14.02m、女子12.19mとする。
- ⑥ 打者、走者、次打者は両耳ヘルメットを必ず着用する。又、ベースコーチも両耳ヘルメット着用。
- ⑦ サスペンデッドゲームを採用する。
- ⑧ 怪我等危険防止の為、金属製スパイク(セラミック製を含む)の使用を禁止する。
- ⑨ 大会当日の気温により、給水タイム3分間を3回、5回終了時に設けるが試合時間には含まない。
- ⑩ 大会1日目は外野ネットを設置しないが準決勝・決勝は設置する。予備日で行う場合は設置しない。

(4) 参加方法

- ① チームは監督、コーチを含め20名以内とし、監督、コーチは選手を兼ねることができる。ただし、異性の監督、コーチは選手を兼ねることはできない。
- ② 男子は30歳未満3名・30歳以上40歳未満3名・40歳以上50歳未満2名、50歳以上1名を常時出場させる。但し、上位年齢層の者は、下位年齢層の者に替わることができるがこの場合は当日の打順表に、年代を記載することとする。(ユニフォームナンバーは変更しなくて良い)
- ③ 女子は、35歳以上の選手を常時3名以上出場させる。
- ④ 年齢は、2026年4月1日現在の満年齢とする。
- ⑤ 男子チームのユニフォームナンバー(背番号及び胸番号)は、30歳未満20番台・30歳以上40歳未満は30番台・40歳以上50歳未満は40番台・50歳以上は50番台で申し込みを行う。又、ユニフォームに縫いつける事。(安全ピン等は危険防止の為不可)
監督は赤色・主将は青色リボンを左肩に縫いつける。リボンは容易に確認できるサイズとする。
- ⑥ 女子チームのユニフォームナンバー(背番号及び胸番号)は、35歳以上は30以上を、35歳未満は29以下を縫いつける。監督は赤色リボン、主将は青色リボンを左肩に縫いつける。リボンは容易に確認できるサイズとする。
- ⑦ 胸のマークは、郡市名とする。
- ⑧ 不正出場は、大会要項に基づき失格とする。

(5) その他

- ① 決勝戦終了後、男子会場・女子会場で表彰式を行う。郡市総合成績は3位まで表彰する。
- ② 雨天時の対応について
1日目・2日目 雨 → 中止
1日目・2日目どちらか雨 → 予備日で行う。(試合開始時間を早めることがある。)
- ③ 落雷及び雷鳴が聞こえた場合、協会競技規則を適用して試合を中断し、天候回復後に再開する。